【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2005-161614(P2005-161614A)
【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2005-024
【出願番号】特願2003-401540(P2003-401540)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/05　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/165　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０３Ｂ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０２Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月29日(2006.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の吐出口が配列された吐出口群と、前記各吐出口からインクを吐出させるためのエネルギー発生手段とを備えた少なくとも１つの記録素子基板と、
前記記録素子基板に対して開口した矩形状の開口部を備え、前記開口部の周縁の一部が前記記録素子基板上に電気的に接続され、前記エネルギー発生手段に電源を供給する電気配線基板と、
前記記録素子基板が配置される凹部が形成され、前記記録素子基板および前記電気配線基板を支持する支持部材と、
前記記録素子基板の周囲に形成された溝部に充填された封止材とを有し、
前記記録素子基板の吐出口面の端部のうち、前記電気配線基板が電気的に接続された電気的接続部が前記封止材で封止され、該電気的接続部を除く端部が、前記開口部の周縁における、前記吐出口の配列方向と平行な対向する２辺の少なくとも一方に設けられた被覆部で覆われ、
前記被覆部は、前記吐出口の配列方向に平行な幅が、前記吐出口の配列長さ以上にされているインクジェット記録ヘッド。
【請求項２】
互いに近接して配置された複数の前記記録素子基板を有し、
前記記録素子基板間の距離が、前記記録素子基板の前記吐出口面をワイピングするワイパーの厚さより小さい、請求項１に記載のインクジェット記録ヘッド。
【請求項３】
請求項１または２に記載のインクジェット記録ヘッドと、
前記インクジェット記録ヘッドを着脱自在に保持し、記録紙に対して往復移動自在に設けられたキャリッジと、
前記記録素子基板の前記吐出口面に当接しながら相対移動することにより前記吐出口面をワイピングするワイパーを備えたワイピング手段とを有するインクジェット記録装置。
【請求項４】
前記ワイパーと前記吐出口面との相対移動の方向は、前記キャリッジの往復移動方向と

同一の方向である、請求項３に記載のインクジェット記録装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
上記目的を達成するため、本発明のインクジェット記録ヘッドは、複数の吐出口が配列された吐出口群と、前記各吐出口からインクを吐出させるためのエネルギー発生手段とを備えた少なくとも１つの記録素子基板と、前記記録素子基板に対して開口した矩形状の開口部を備え前記開口部の周縁の一部が前記記録素子基板上に電気的に接続され前記エネルギー発生手段に電源を供給する電気配線基板と、前記記録素子基板が配置される凹部が形成され、前記記録素子基板および前記電気配線基板を支持する支持部材と、前記記録素子基板の周囲に形成された溝部に充填された封止材とを有する。前記記録素子基板の吐出口面の端部のうち、前記電気配線基板が電気的に接続された電気的接続部が前記封止材で封止され、該電気的接続部を除く端部が、前記開口部の周縁における、前記吐出口の配列方向と平行な対向する２辺の少なくとも一方に設けられた被覆部で覆われる。前記被覆部は、前記吐出口の配列方向に平行な幅が、前記吐出口の配列長さ以上にされる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
本発明によれば、記録素子基板の、電気的接続部を除く端部が電気配線基板の被覆部によって覆われていることにより、支持凹部と記録素子基板との間の溝部も同電気配線基板の被覆部によって覆われるため、弾性部材からなるワイパーを用いて吐出口面をワイピングする際に、ワイパーの先端が溝部に落ち込むことが防止される。その結果、ワイパーによるインクの拭き取りが安定する。また、支持凹部と記録素子基板との間の溝部が覆われた部分では、溝部内にインクなどの不要な付着物が溜まることがない。